

日本の

SC Shopping Center

● LALAガーデンつくば ●

「ライフスタイルパーク」をコンセプトに、洗練された都市型ライフスタイルを発信。

2004年3月19日（金）、日本を代表する研究学園都市つくば市の中心部から約1 km、国道408号線沿いに「LALAガーデンつくば」がオープンした。同SCは、三井不動産が開発した中小商圏型SCの新業態、「三井ライフスタイルパーク」の2番目の施設としてオープン。アメリカのモール建築家フェルナンド・ヴァスケス氏が基本設計した建物は、全体にヨーロッパのエッセンスが取り入れられている。三井不動産グループの商業施設運営として初めて、地域の方々を対象としたコミュニティ組織「LALAクラブ」を立ち上げたのも特徴の1つである。



SCのほぼ中央にある「プラザ」と名付けられた広場。ステージもある。左上に見えるのはライトハウスで、夜は照明が入り光り輝いて見える。右の写真は「プラザ」のシンボル塔。「LALA GARDEN」のサインを中心に、ライトを張り巡らせている。



土浦学園線から広い駐車場越しに観た外観。駐車場はすべて平面で、約1,100台収容可能。(写真提供：三井不動産(株))

SC正面入口にある、大きなロゴ。つくば市のシンボルカラーを使用したユニークな形で、館内の至るところで目にする事ができる。



自然食品やオーガニック食品も充実した、「グラン・ブルシェ」(1階)。(株)カスミの新業態で、面積は約3,280㎡。



まったく新しいコスメショップを実現した、「コレコレ」(ダウンタウンアーケード1階)。



外観は、イタリア・トスカーナ地方の鮮やかな色彩を取り入れ、たのしくカラフルな色調でまとめられている。



同SCはインナーモールとオープンモールで構成されている。写真は「ダウンタウンプロムナード」と呼ばれる、オープンモールの部分。1階には「グラン・ブルシェ」や「エクセル」などの大型店、2階には飲食店や専門店が並んでいる。



「ダウンタウンアーケード」1階は、ブルーのネオン管とダークな色を効果的に使い、ほかのエリアとはまったく異なった空間になっている。ワールドが展開する、「HUSH」や「THE SHOP OZOC」(写真)は、茨城県初出店である。



アールを描いた広い通路の真ん中には、店舗（アクセサリーの「クアトロ ルナ」=正面）を配置し、たのしく回遊できるようになっている。左はナイスクラブが展開する「tu-tu」、茨城県初出店で、関東最大規模（約161㎡）。



「ダウンタウンプロムナード」2階の一角には、イタリアンバイキングの「パパゲーン」(右)や、「平塚寿司」、「ぶらんす亭」(左)など、レストランやカフェなど7店舗が集まっている。



スペイン風の大階段。カラフルなモザイクや手すりの形状、サインなどカラーが統一され、見た目にもたのしい演出である。



「ダウンタウンアーケード」と名付けられたインナーモールの2階。手前から、「シャンティ シャンティ」（茨城県初出店）、「パーティ リコ」、「プラサカブコン」、「ペットフォレスト」。一番奥には「アカチャンホンポ」がある。

●SC概要

施設名 LALA ガーデンつくば
所在地 茨城県つくば市小野崎字千駄苅278-1
URL <http://lalagarden-tsukuba.tv>
オープン日 2004年3月19日(金)
運営・管理 (株)ららぽーと